

平成26年6月2日  
自然環境課  
内線：4268  
外線：076-225-1477

### 珠洲市三崎町におけるウミネコ大量死の死因調査結果について

平成26年3月19日、珠洲市三崎町小泊の海岸で発見されたウミネコ死亡個体241羽のうち3羽について、（独）国立環境研究所に死因調査を依頼していましたが、調査が終了しましたので、その結果についてお知らせします。

#### 1 発生場所

珠洲市三崎町小泊の海岸

#### 2 野鳥の種類

ウミネコ 241羽

#### 3 経緯 等

3月19日 県奥能登農林総合事務所職員が現地調査及び検体回収

同日 県北部家畜保健衛生所能登駐在所で高病原性鳥インフルエンザ簡易検査を実施、陰性

3月20日 検体を（独）国立環境研究所に送付

3月25日 環境省から、（独）国立環境研究所で実施していた遺伝子検査にてA型インフルエンザウイルス陰性の連絡

6月2日 （独）国立環境研究所から、大量死の原因の特定には至らなかった旨の連絡

※1. 感染症検査、農薬検査及び細菌検査：陰性

※2. 病理組織学的検査：死因の特定に至る所見なし

4 同時期に富山県に漂着した死亡野鳥（ウミネコ）についても、石川県のものと同様、大量死の原因の特定に至らなかったとのこと。（富山県に確認済み）

平成26年3月27日  
自然環境課  
内線：4268  
外線：076-225-1477

珠洲市三崎町におけるウミネコ死亡個体の高病原性鳥  
インフルエンザ遺伝子検査結果について

3月19日、珠洲市三崎町小泊の海岸で発見されたウミネコ死亡個体3体（総数241羽）  
について、遺伝子検査のための検体を独立行政法人国立環境研研究所に送付していたところ、  
25日、環境省から口頭にて遺伝子検査陰性だった旨の連絡があった。

なお、現在、同研究所に依頼している死因の検査について結果が判明するまでには、約1  
か月かかる見込み。

（参考）3月19日に県が実施した簡易検査は陰性だった。